

【成人看護学】

※「成人看護学概論」、「急性期看護Ⅰ」、「急性期看護Ⅱ」、「慢性期看護」はすべて「NICE成人看護学」シリーズの一巻です。

●目標Ⅰ. 成人各期の健康保持・増進や疾病の予防について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
1. 成人の特徴と生活	A. 成人期の発達課題の特徴	a. 青年期・壮年期・向老期の身体的特徴	「成人看護学概論」第Ⅰ章2-A	成人の心身の特徴と変化	10-18
		b. 青年期・壮年期・向老期の心理・社会的特徴	「成人看護学概論」第Ⅰ章2-B/第Ⅰ章2-C	ライフサイクルからみた成人期の特徴と発達課題/社会との相互作用からみた成人期の特徴	18-26/26-30
	B. 成人の生活	a. 家族形態と機能	「成人看護学概論」第Ⅱ章1	家族をめぐる状況	34-39
		b. 生活様式	「成人看護学概論」第Ⅱ章3	日常生活スタイルの変化	47-55
	C. 成人を取り巻く環境	a. 社会状況の変化	「成人看護学概論」第Ⅱ章2/第Ⅱ章4/第Ⅱ章5	仕事をめぐる状況/セクシュアリティの多様性/環境問題の深刻化	40-46/56-61/62-71
2. 成人における健康の保持・増進や疾病の予防	A. 生活習慣に関連する健康課題	a. 生活習慣病の要因	「成人看護学概論」第Ⅲ章5	生活習慣と健康	113-123
		b. 健康問題の現状と推移	「成人看護学概論」第Ⅲ章5-B-2	日本における生活習慣病の概況	117-123
		c. 生活習慣の是正	「成人看護学概論」第Ⅲ章4-A/第Ⅴ章1-B	ヘルスプロモーションとは/生活習慣病の予防対策	98-102/241-242
	B. 職業に関連する健康課題	a. 就労条件・環境と疾病との関係	「成人看護学概論」第Ⅲ章6-A/第Ⅲ章6-C	職業・労働が健康に与える影響/職業・労働、労働環境がもたらす健康障害	124-125/125-133
		b. 職業性疾患の要因と健康診断の受診行動	「成人看護学概論」第Ⅲ章6-C/第Ⅴ章1-D/第Ⅴ章1-E	職業・労働、労働環境がもたらす健康障害/定期健康診断と保健指導/職業疾患とその予防	125-133/248-251/251-252
	C. ストレスに関連する健康課題	a. ストレス関連疾患の要因	「成人看護学概論」第Ⅲ章7/第Ⅴ章1-F	生活ストレスと健康/快適な職場環境づくり	134-140/253
	b. ストレス対処方法	「成人看護学概論」第Ⅳ章2-A/第Ⅴ章1-F	ストレス・コーピングを支える/快適な職場環境づく	174-180/253	

●目標Ⅱ. 急性期にある患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
3. 急性期にある患者と家族の特徴と看護	A. 患者の特徴	a. 身体的特徴	「急性期看護Ⅰ」第1部1-B-2	急性の状態にある成人期の患者と家族の身体的・心理的・社会的特徴	3-4
		b. 心理的特徴	「急性期看護Ⅱ」第Ⅲ章1-B 「急性期看護Ⅰ」第1部1-B-2	急性の状態にある成人期の患者と家族の身体的・心理的・社会的特徴	34-36 3-4
		c. 社会的特徴	「急性期看護Ⅱ」第Ⅲ章1-C 「急性期看護Ⅰ」第1部1-B-2	急性の状態にある成人期の患者と家族の身体的・心理的・社会的特徴	37-39 3-4
	B. 家族の特徴	a. 心理的特徴	「急性期看護Ⅰ」第1部1-B-2	急性の状態にある成人期の患者と家族の身体的・心理的・社会的特徴	3-4
		b. 社会的特徴	「急性期看護Ⅱ」第Ⅲ章2 「急性期看護Ⅰ」第1部1-B-2	急性医療・集中治療下の患者の家族の特徴	40-44 3-4
	C. 急性期における看護の基本	a. 危機的状態への精神的支援	「急性期看護Ⅰ」第1部3-B	患者と家族に対する看護	29-31
		b. 治療の緊急性と優先度、治療選択・意思決定への支援	「急性期看護Ⅰ」第1部3-B	患者と家族に対する看護	29-31
		c. 代理意思決定支援	「急性期看護Ⅱ」第Ⅳ章3-B-1-c 「急性期看護Ⅱ」第Ⅶ章1-D-c	患者の人生や生命にかかわる重要な決定を家族が代理で行うことが多い 家族の代理意思決定支援	90-91 145
	4. 救急看護、クリティカルケア	A. 緊急度と重症度のアセスメント	a. 意識レベル、神経学的所見	「急性期看護Ⅱ」第Ⅳ章1-B-3-b	脳神経系のアセスメント
b. バイタルサイン			「急性期看護Ⅱ」第Ⅳ章1-B-3-c 「急性期看護Ⅱ」第Ⅳ章1-B-3-d	呼吸状態のアセスメント 循環動態のアセスメント	68-70 70-71
a. 心肺停止状態への処置			「急性期看護Ⅱ」第Ⅴ章	救命救急処置—心肺蘇生と生命維持	98-117
B. 救急看護・クリティカルケアの基本		b. ショックへの処置	「急性期看護Ⅱ」第Ⅶ章7-A-4	主な処置、治療	254-256
		c. 急性症状の応急処置	「急性期看護Ⅱ」第Ⅳ章2-A 「急性期看護Ⅱ」第Ⅳ章2-B	受け入れ準備および受け入れ時の対応 身体的援助	78-79 79-80

5. 周術期にある患者と家族への看護	A. 術前からの看護	d. 外傷・熱傷・中毒の応急処置	「急性期看護Ⅱ」第Ⅷ章9-A-4 「急性期看護Ⅱ」第Ⅷ章10-A-6 「急性期看護Ⅱ」第Ⅷ章11-A-5	(外傷)主な処置・治療 (熱傷)主な処置・治療 (中毒)主な処置・治療	282-283 301-305 315-316
		e. 環境要因による障害の応急処置	「急性期看護Ⅱ」第Ⅷ章8-A-5	(体温異常)主な処置・治療	265-266
		f. 感染症への処置	「急性期看護Ⅱ」第Ⅳ章1トピックス 「急性期看護Ⅱ」第Ⅳ章2-A-2 「急性期看護Ⅱ」第Ⅵ章-I-2	感染症のトリアージ 事故予防/感染対策 感染対策	55 78 137
		a. 手術療法の理解を促す援助	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅰ章3 「急性期看護Ⅰ」第Ⅱ章1	周手術期看護とは 手術前期の看護とは	41-46 48-49
		b. 手術の意思決定への援助	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅰ章3-D	周手術期医療における倫理	44-45
		c. 術後合併症のリスクアセスメントと援助	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅱ章2-C-2 「急性期看護Ⅰ」第Ⅱ章2-C-3 「急性期看護Ⅰ」第Ⅳ章	手術や麻酔に伴うリスクの低減に向けたケア 術後回復と術後合併症予防のための術前練習 手術後期の看護	58-61 61 94-138
	B. 術中の看護	d. 術前オリエンテーション	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅱ章2-C-1	術前準備	56-58
		e. 不安のアセスメントと援助	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅱ章2-C-1-a	不安をアセスメントし、不安の程度に応じて支援す	56-57
		f. ボディイメージ<身体像>の変容への援助	「急性期看護Ⅰ」第1部2-3	自己概念、ボディイメージ	24-26
		a. 開腹・開胸・開頭・鏡視(内視鏡)下の手術方法による影響と援助	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅵ章	事例で考える周手術期看護	149-409
		b. 手術体位による影響と援助	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅲ章2-B-3-2)	体位固定時の看護	78-80
		c. 麻酔による影響と援助	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅲ章2	手術期の看護の実際	83-84
	C. 術後の看護	d. 安全管理<セーフティマネジメント>(患者確認、ガーゼ遺存の防止)	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅲ章1-A-(1) 「急性期看護Ⅰ」第Ⅲ章2-B-3-3)-d	入室時の看護 その他の手術中の合併症・事故と予防	68 87-88
		a. 生体反応	「急性期看護Ⅰ」第1部2-B 「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅳ章1-B	患者が体験する侵襲 回復室で生じうる問題と観察のポイント	7-14 95
		b. 術後の疼痛管理	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅳ章5	疼痛のアセスメントと看護	110-113
		c. 創傷管理	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅳ章6-A	創傷治療課程と手術部位感染	114-115
	D. 術後合併症と予防	d. ドレーン管理	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅳ章6-B	手術部位感染のアセスメントと看護	117-118
		a. 術後出血	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅵ章2-E-2/6-E-2/7-E-2/9-E-2/10-E-2/12-E-3	#1-2術後出血・血胸/#1-1術後出血/#1-3腹腔内出血(術後出血)/#1-1術後出血/#1-1術後出血/#2術後出血	186- 187/262/280/314/335/378-379
		b. 下肢静脈血栓、肺塞栓症	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅳ章4	循環動態のアセスメントと看護	105-109
		c. 呼吸器合併症	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅳ章3	呼吸状態のアセスメントと看護	101-104
		d. 感染症	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅳ章6	術後感染のアセスメントと看護	114-121
	E. 術後の機能障害や生活制限への看護	e. 廃用症候群	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅳ章9	早期離床の促進	132-134
		a. ボディイメージの受容への支援	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅳ章10-B	心理的援助	136-137
		b. 退院調整	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅴ章	退院に向けた指導・支援	140-146
		c. 機能訓練	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅳ章10-A 「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅴ章2	日常生活の援助と心理的援助 退院に向けた指導・支援の実際	135-136 141-146
	d. セルフケア能力の獲得	「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅴ章2	退院に向けた指導・支援の実際	141-146	

●目標Ⅲ. 慢性疾患がある患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
6. 慢性疾患がある患者と家族の看護	A. 慢性疾患がある患者と家族の特徴	a. 慢性疾患の特徴	「慢性期看護」第Ⅰ章1	慢性疾患の特徴	2-17
		b. 主な慢性疾患の疫学	「慢性期看護」第Ⅰ章1-C-1/第Ⅰ章1-C-2	社会の変化と死因構造の変化/慢性疾患の罹患および死亡の概況	9/9-12
		c. 慢性疾患とともにある生活	「慢性期看護」第Ⅰ章2-B/第Ⅱ章	慢性疾患の治療法とその特徴/慢性疾患を有する人の生活および社会的特徴	20-23/60-63
	B. 慢性疾患の治療と看護の基本	a. 治療選択・意思決定への支援	「慢性期看護」第Ⅰ章4	慢性疾患を有する人に対する看護の役割	30-35
		b. 継続的な支援体制と連携	「慢性期看護」第Ⅰ章3/第Ⅰ章5	慢性疾患を有する人をとりまく療養環境の変化/慢性疾患を有する人にかかわる専門職とチーム	24-28/36-38

C. セルフケア・自己管理への看護	a. セルフケア能力と行動のアセスメント	「慢性期看護」第Ⅲ章1-A	セルフケア	73-76	
	b. セルフケアに影響する要因	「慢性期看護」第Ⅲ章1	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念	72-93	
	c. セルフケアの工夫への支援	「慢性期看護」第Ⅲ章2-A	セルフマネジメント能力を高める支援	96-101	
	d. アドヒアランスや主体性の尊重	「慢性期看護」第Ⅲ章1-F	アドヒアランス	87-89	
	e. 疾病認識と自己モニタリング	「慢性期看護」第Ⅲ章1-B/第Ⅲ章2-A	セルフマネジメント/セルフマネジメント能力を高める支援	76-79/96-101	
	f. 生活と自己管理の調整	「慢性期看護」第Ⅲ章2-A	セルフマネジメント能力を高める支援	96-101	
	D. 社会的支援の獲得への看護	a. 患者と家族の相互作用と関係性	「慢性期看護」第Ⅱ章3-A	役割とは/慢性疾患および治療が及ぼす役割の変	60/60-61
		b. 患者と家族の抱える問題	「慢性期看護」第Ⅱ章4-A	患者と家族を取り巻く問題	64-65
		c. 退院調整と多職種連携	「慢性期看護」第Ⅰ章3-B/第Ⅰ章5	病院・地域・在宅との連携/慢性疾患を有する人にかかわる専門職とチーム医療	25-27/36-38
		d. 患者会・家族会の活用と支援	「慢性期看護」第Ⅲ章3-D	サポートグループやセルフヘルプグループ	125-127
e. 医療費助成制度の活用		「慢性期看護」第Ⅲ章4-A	わが国の社会保障制度	111-122	

●目標Ⅳ. リハビリテーションの特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
7. リハビリテーションの特徴と看護	A. リハビリテーションの特徴	a. リハビリテーションの定義	「リハビリテーション看護」第Ⅰ章1-B	リハビリテーションの定義	2
		b. リハビリテーションにおける看護の役割	「リハビリテーション看護」第Ⅱ章3	リハビリテーション看護の専門性	41-48
		c. 機能障害と分類	「リハビリテーション看護」第Ⅰ章4	生活機能分類と生活機能障害の構造	22-29
	B. 機能障害のアセスメント	a. 生活機能障害と日常生活動作<ADL>	「リハビリテーション看護」第Ⅳ章3-B	日常生活活動(ADL)の構造	102-108
		b. 居住環境	「リハビリテーション看護」第Ⅳ章3-A/「リハビリテーション看護」第Ⅴ章2-B	動きやすい環境 福祉用具および住環境整備の意義	99-102 131-143
	C. 障害に対する受容と適応への看護	a. 廃用症候群の予防	「リハビリテーション看護」第Ⅴ章1-C	不動・低活動の予防	121-128
		b. 日常生活動作<ADL>・活動範囲の拡大に向けた援助	「リハビリテーション看護」第Ⅴ章2-A	活動の促進	129-130
		c. 補助具・自助具の活用	「リハビリテーション看護」第Ⅴ章2-B	福祉用具および住環境整備の意義	131-143
		d. 心理的葛藤への援助	「リハビリテーション看護」第Ⅲ章1	障害とともに生きる技法	50-55
	D. チームアプローチと社会資源の活用	a. 多職種連携	「リハビリテーション看護」第Ⅱ章1/2	リハビリテーションに必要なチームアプローチ/リハビリテーション医療に携わる専門職の役割・機	32-36/37-40
		b. 身体障害者福祉法に基づく社会資源の活	「リハビリテーション看護」第Ⅵ章3	生活期におけるリハビリテーション看護	173-180
	E. 患者の社会参加への支援	a. 就労条件・環境の調整	「リハビリテーション看護」第Ⅴ章3	参加の促進	150-154
		b. 社会参加を促す要素と阻害要因	「リハビリテーション看護」第Ⅴ章3	参加の促進	150-154

●目標Ⅴ. がん患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
8. がん患者と家族への看護	A. がん患者の抱える苦痛	a. 転移・浸潤による身体的・心理的苦痛	「がん看護」第Ⅳ章3-A 「緩和ケア」第Ⅲ章2	がん疼痛 痛みのマネジメント	205-211 102-125
		b. 再発や経過の不確かさに伴う心理的苦痛	「がん看護」第Ⅲ章1-C 「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅶ章2-E-4/6-E-4/11-E-4 「慢性期看護」第Ⅴ章3-4-A-4	再発・転移がんの診断・治療期にあるがん患者の特徴と援助のポイント #3再発に対する不安/#1再発・転移への不安/#3再発・転移への不安 再発を繰り返すことによる心理的葛藤	82-83 189- 190/265/361 289-290
		c. 社会的偏見や制約に伴う苦痛	「がん看護」第Ⅰ章B 「急性期看護Ⅰ」第2部第Ⅳ章10	がん患者が抱える苦痛 日常生活の援助と心理的援助	4 135-137
		d. スピリチュアルな苦痛	「がん看護」第Ⅱ章2-B-4 「緩和ケア」第Ⅱ章5	スピリチュアルペイン スピリチュアルケア	46 94-98
	B. がん患者の生活上の困難	a. 全身消耗、倦怠感、疼痛等に伴う活動制限	「がん看護」第Ⅲ章1-B-1 「緩和ケア」第Ⅲ章2/7	治療期にあるがん患者の特徴 痛みのマネジメント/倦怠感のマネジメント	78-79 102-125/148-
	C. がん患者の治療と看護	a. 広範囲で侵襲性の高い手術療法	「がん看護」第Ⅳ章1 「がん看護」第Ⅴ章1	手術療法 手術療法を受ける患者の看護	122-125 156-162

		b. 化学療法	「がん看護」第IV章2 「がん看護」第V章2 「慢性期看護」第IV章5	薬物療法 薬物療法を受ける患者の看護 化学療法を受ける患者の援助	126-134 163-171 169-182
		c. 放射線療法	「がん看護」第IV章4 「がん看護」第V章4 「慢性期看護」第IV章6	放射線療法 放射線療法を受ける患者の看護 放射線療法を受ける患者の援助	135-140 177-182 183-190
		d. 集学的治療	「がん看護」第II章2-D	がんの診断と集学的治療	37-42
	D. がん患者の社会参加への支援	a. 就労条件・環境の調整	「がん看護」第III章2-C-2	(成人期のがん患者の)社会生活を支える援助のポイント	103-104
		b. 社会参加を促す要素と阻害要因	「がん看護」第I章D-4 「がん看護」第III章2-C-1-b	社会参加を促す支援 (成人期のがん患者の)社会的特徴	7-8 102

●目標VI. 終末期にある患者、および緩和ケアを必要とする患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	書名・該当箇所	項目名	頁
9. 終末期にある患者および緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	A. 緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	a. がん患者	「緩和ケア」第I章5 「がん看護」第VIII章4	がんと緩和ケア 成人(壮年後期)のがん患者への看護	21-24 293-303
		b. 心不全患者	「緩和ケア」第VI章4	心不全を患う人への緩和ケア	260-267
		c. 慢性呼吸不全患者	「緩和ケア」第VI章5	慢性呼吸不全を患う人への緩和ケア	268-274
		d. 慢性疼痛のある患者	「緩和ケア」第III章2	痛みのマネジメント	102-125
		a. 症状アセスメントとマネジメント	「緩和ケア」第III章 「がん看護」第VI章3	緩和ケアの実践方法 各症状のマネジメント	99-175 205-237
		b. 全人的苦痛のアセスメントとマネジメント	「緩和ケア」第I章2/第II章1/第II章5	尊厳ある生と死, 大切な生活をつなぐケア/日常生活を支えるケア/スピリチュアルケア	4-8/57-64/94-98
		c. 苦痛緩和と意思決定支援	「緩和ケア」第II章2	意思決定を支えるケア	65-76
		d. 予期的悲嘆に対するアセスメントとケア	「緩和ケア」第II章4	喪失と悲嘆のケア	88-93
		e. アドバンスケアプランニング	「緩和ケア」第II章2 「がん看護」第II章4-A-3	意思決定を支えるケア アドバンス・ディレクティブとアドバンス・ケア・プランニング(ACP)	65-76 66-67
		f. 家族ケア	「緩和ケア」第II章3	家族ケア	77-87
	C. 臨死期の看護	a. 身体的ケア	「緩和ケア」第IV章2	死が近づいた患者へのケア	181-201
		b. 精神的ケア	「緩和ケア」第IV章2	死が近づいた患者へのケア	181-201
		c. 家族の悲嘆へのケア、代理意思決定支援	「緩和ケア」第IV章3	看取りを迎える家族へのケア	195-199
		d. 脳死状態への対応	「急性期看護II」第VII章	脳死状態に陥った患者と臓器移植	142-146

●目標VII. 各機能障害のある患者の特徴および病期や障害に応じた看護について基本的な理解を問う。

対照表は省略。「病態・治療論[1]~[14]」「成人看護学シリーズ(急性期看護I・II, 慢性期看護, 成人看護技術)」「リハビリテーション看護」「がん看護」「緩和ケア」で対応